

市町村名	恩納村						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	万座毛周辺活性化施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ)	
担当部署名	企画課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	多くの観光客が訪れる「万座毛」は、施設の整備が行き届いていないため、トイレ、売店、休憩所等の活性化施設及び周辺環境を整備する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,134		13,673	-	
		(b)予算現額	4,820		13,673	-	
		(c)増減額(b-a)	▲314		0	-	
		(d)繰越額	-		-	13,673	
	A. 計(b+d)		4,820		13,673	13,673	
	B. 執行済額		4,820		0	12,852	
	うち交付金充当額		3,856		0	10,281	
	次年度繰越額		0		13,673	-	
	執行率(%) (B/A)		100.0%		0.0%	94.0%	
予算の状況の説明		入札差金により821千円の減が生じた。 また事業計画地に係る法規制(文化財保護法、森林法、自然公園法)の事前協議等に不測の日数を要したため、委託費にかかる13,673千円を平成27年度に繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	万座毛周辺活性化施設の整備方針、利用・運営計画、施設計画等を検討する。	目標	(基本計画策定)	()	(整備方針、利用・運営計画、施設計画等の検討)	()	
		実績	基本計画策定		整備方針、利用・運営計画、施設計画等の検討の実施		
			目標	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	平成26年度に整備方針、利用・運営計画、施設計画等を検討した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	万座毛周辺活性化施設の実施計画の策定	目標	()	(基本計画策定)	()	(実施計画策定)	()
		実績		基本計画策定		実施計画策定	
			目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	平成24年度に基本計画を策定し、H26年度事業の実施計画が繰越によりH27年8月に策定された。現在はH27年11月から実施している基本設計業務を継続実施中である。H28年度以降は実施設計を経て駐車場及び活性化施設整備を実施し、安心、安全で魅力ある観光施設として、本村並びに沖縄県の観光振興を図っていく。					

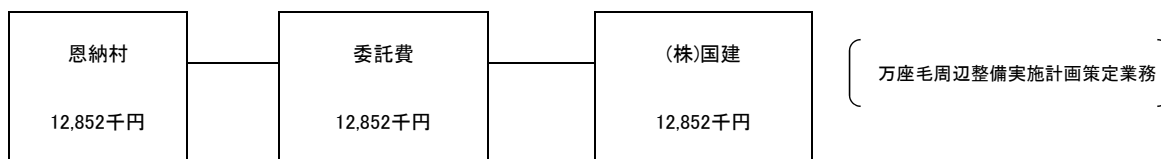
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>「万座毛」は沖縄を代表する観光地となっているが、当施設の整備が行き届いていないのが現状であり、特にトイレや簡易造りの土産品施設のほか、駐車場スペースに至っては狭隘で、観光シーズンや夕方時間帯には、交通渋滞が発生し、路上駐車等により、周辺住民の生活にも支障を来している。また施設内では観光客と車両が混在し危険な状況であるなど、観光地としての懸案事項となっている。</p> <p>問題解消として、駐車場、トイレ、休憩施設等、観光地の活性化施設整備を実施し、安全・安心で魅力ある観光地づくりを行い、本村及び沖縄県の観光振興に寄与する。</p> <p>「万座毛」一帯は保安林、国定公園、県文化財(名勝、天然記念物)に指定されており、各関係機関のもつ機能や目的等に十分配慮した整備計画を行う必要がある。実施計画の策定にあたっては、当該関係機関との協議及び地元調整に不測の日数を要したため平成27年度に繰越して事業を実施した。</p>	<p>当初計画より契約期間が大幅に遅れてしまったが、今後の事業実施に際しては、関係機関との協議等をこれまで以上に効果的に促進させ、事業繰越が発生しないよう取り組む。</p> <p>観光客のニーズと法規制等のバランスを考慮した活性化施設となるよう、引き続き関係機関との協議を行い、法規制許認可業務の実施及び地元関係者との協議を進めていく。</p>

今後の取り組み方針

事業計画において、関係機関との協議や許認可までに要する期間、また工事実施に係る期間についても、準備工や仮設工等に要する日数も検証し、事業が年度内に完了できるよう、適正工期を設けた事業実施に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
12,852	12,852	10,281	2,571	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模についても不用額821千円であり適正な規模であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成上必要な業務であり、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	